



平成22年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書

<新規事業>

大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業

1 「ゆうキャンパス・ステーション」のオープン

(1) 5月8日(土) 10:00~12:00 オープン行事



学生によるファンファーレ



学長等によるテープカット

(2) リレー講演会 ～美しい山形 再発見～

5月9日(日) 結城章夫氏 山形大学長、大学コンソーシアムやまがた会長

5月10日(月) 内藤正敏氏 東北芸術工科大学教授

5月11日(火) 山本陽史氏 山形大学教授

5月12日(水) 松本哲男氏 東北芸術工科大学長

5月13日(木) 佐藤善哉氏 山形新聞米沢支社編集部長

5月14日(金) 野村浩志氏 山形鉄道(株)代表取締役社長



2 「高等教育山形宣言」プロジェクト

COMME MUSEUM (コム・ミュージアム)

東北芸術工科大学LIRG 代表 山口麻紀氏

「おくりびと」バリアフリー版上映会

チュートリアル名作映画バリアフリー 代表 伊藤早紀氏

学生による地域づくりシンポジウムおよび学生交流会
山形工科短期大学校学生自治会 代表 矢作美季 氏

第2回 ゆうキャンパス祭 Winter Festa ～若い力で輝け新庄！～
東北文教大学コーラス部 代表 信夫 椋 氏

3 企画会議主催プロジェクト

(1) 進学相談会 会場：「ゆうキャンパス・ステーション」

6月 9日～ 7月16日 8機関

11月17日～12月22日 5機関

(2) 公開講演会「井上ひさしはこう考えた」

6月23日～7月21日までの毎週水曜日全5回 18:30～19:30



(3) 「ゆうステ」スペシャルコーヒーセミナー

9月25日(土)・26日(日) 「ゆうキャンパス・ステーション」

目的：①コーヒーについて学術的・嗜好的観点から学ぶ。

②「ゆうステ」認知度の向上。

参加者：一般市民・学生等120名

(4) ゆうキャンパス祭

10月2日(土) 10:00～16:00 「ゆうキャンパス・ステーション」及び駅前お祭広場
サークル紹介、作品展示・グッズ販売、ミニシンポジウム

12月26日(日) 13:00～17:00 最上広域交流センター「ゆめりあ」

学生宣言プロジェクト「Winter Festa」として実施



(5) ゆうキャンパスSD職員研修会

フレッシュマン編 9月1日(水) 13:30～16:55

講師：山形大学教授 山本陽史 氏「実践！伝わる文書の作成法」

：山形大学教授 福島真司 氏

「Enrollment Managementと大学職員の役割」

参加者数： 8機関23名

ミドル編

12月10日(金)

講師：立命館大学総務部長 西川幸穂 氏

「ミドル・マネージャーに求められるもの～立命館の
人事政策を踏まえて～」

参加者数：4機関15名



グループ討議 (ミドル編)

(6) 合同企業説明会

1回目 11月15日(月) 13:00～16:00 山形テルサ

参加企業27社 参加学生126名

2回目 12月22日(水)・24日(金) 10:00～15:30 (2部構成) 「ゆうステ」

参加企業数16社 参加学生数延べ123名



1回目



2回目

(7) やまがた夜話「～山形県の人・モノ・地域づくり編～」

10月27日～3月23日の水曜日の18:30～19:30に開催(計18回)

12月21日(火) 特別編「Facebookが切り拓く、新しい世界」

講師：(株)ソーシャルメディア研究所 熊坂仁美 氏

(8) NHK山形放送局制作番組「ボイススキミの声がききたい」

11月5日(金) 19:30～20:43(生放送) 「ゆうステ」をサブ会場として40名の学生が参加



(9) 山形県知事と「大学コンソーシアムやまがた」学長等との懇談会

12月8日(水) 15:30~17:00 「ゆうキャンパス・ステーション」

目的: 大学コンソーシアムやまがたが地域課題の解決・対応などの地域貢献を効果的に実施するためには、山形県との相互理解と連携を深めることが重要であり、知事との懇談会を行おうとするもの



<継続事業>

教育連携

1 出張「大学等合同説明会」の実施

- ① 県立長井工業高校 H22/7/26 (月) 10:00~11:00 個別進学相談会 (6 機関)
参加生徒数: 3 学年の進学希望者 16 名
- ② 県立寒河江工業高校 (1 回目) H22/7/29 (木) 13:30~14:30 個別進学相談会 (3 機関)
参加生徒数: 3 学年の進学希望者 14 名
- ③ 県立小国高校 H22/9/22 (水) 14:20~15:10 対象 個別進学相談会 (4 機関)
参加生徒数: 1~3 学年の進学希望者 23 名
- ④ 県立新庄南高校 H22/10/7 (木) 13:20~15:10 模擬講義 (6 機関)
参加生徒数: 1, 2 学年全員及び 3 学年希望者 254 名
- ⑤ 県立鶴岡中央高校 H22/12/8 (水) 13:35~14:25 個別進学相談会 (5 機関)
参加生徒数: 2 学年全員 157 名
- ⑥ 県立北村山高校 H22/12/16 (木) 13:25~15:15 模擬講義 (4 機関)
参加生徒数: 2 学年の大学短大医療系志望者 146 名
- ⑦ 県立谷地高校 H23/1/7 (金) 13:25~15:25 模擬講義 (6 機関)
参加生徒数: 1, 2 学年全員及び 3 学年希望者 196 名
- ⑧ 県立寒河江工業高校 (2 回目) H23/3/18 (金) 14:00~15:00 (予定) 個別進学相談会 (4 機関)
参加生徒数: 1, 2 学年進学希望者 76 名



2 連携型教育の推進に関する事業

(1) 単位互換の推進

2,500 科目開講

[利用者] 前期 18 名(東北芸術工科大学 12, 東北公益文科大学 1, 山形大学 5) 8 科目

後期 10 名(東北芸術工科大学 7, 東北公益文科大学 1, 山形大学 2) 7 科目



① 最上川学プロジェクト推進委員会所管の「最上川俯瞰講義」(前期)、「最上川の自然と文化」(後期・集中)を単位互換科目として開講


- ・「最上川俯瞰講義」(前期) 36 名(山大 36)
- ・「最上川の自然と文化」(後期・集中) 24 名(山大 24)

② 単位互換の広報

単位互換関連ポスター・リーフレット、科目一覧冊子の作成。

③ 連携型科目の開発

- ・各大学等の科目を融合して大学間連携の新しい科目を開発し、単位互換を推進する。
- ・22 年度の連携型科目開発・試行は以下のとおり。

科目名	テーマ	連携大学等
<遊具>を創る(試行)	美術、保育、運動学、教育社会学の視点を取り入れた幼児の遊具制作	東北芸術工科大学 東北文教大学短期大学部 羽陽学園短期大学
上山に賑わいの核をつくる(開発)	賑わいの核となる施設(修復蔵)の計画による協働のまちづくり 	東北公益文科大学 東北芸術工科大学 東北文教大学短期大学部
大学発地域デザイン(試行)	七日町商店街と西蔵王地区の地域デザイン	山形大学 東北芸術工科大学
地域づくりセミナー 2010 in おぐに(試行)	小国町の雑穀を活用した地域づくり	東北公益文科大学 東北芸術工科大学 米沢女子短期大学

		山形大学
実践的コミュニケーション学（試行）	「山形」の魅力を受験生等に雑誌の特集ページ等を使って伝えるという作業を通した、実践的なコミュニケーションスキルの向上	山形大学 東北芸術工科大学

(2) eラーニングの推進

5科目開講

[利用者] 前期6名(山形大学6) 3科目 後期5名(山形大学5) 2科目

(3) 連携型教育フォーラム

本事業の総括としてフォーラムを開催 (参加者19名)

日時 H23.3.1(火) 13:30~16:00 場所 ゆうキャンパス・ステーション

大学コンソーシアムせと事例報告「まちづくり施策協働プログラム」

大学コンソーシアムせと地域交流事業部及び教育事業部委員 坂本 剛 氏

(名古屋産業大学環境情報ビジネス学部准教授)

市民向けサービス提供に関する事業

学生実行委員会が高校生等と科学者との語り合いの場を企画・運営する「やまがたサイエンスカフェ」を山形県と共同で5回実施。

第1回 平成22年11月24日(水) 16:00~17:30 「ゆうステ」 (参加者42名)

テーマ: 「バイオインフォマティクス食べて、科学しよう」

講師: 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授 金谷 重彦 氏

第2回 平成22年12月13日(月) 16:30~17:30 新庄市民プラザ (参加者13名)

テーマ: 動物が伝え合っていることーシカの鳴き声を例にー

講師: 麻布大学獣医学部動物応用科学科講師 南正人 氏

第3回 平成23年1月20日(木) 16:30~17:30 山形大学工学部100周年セミナー室

(参加者32名)

テーマ: 「身近な筆記用具も意外と進化してるんです」

講師: 三菱鉛筆(株)横浜研究開発センター課長代理 小林 武 氏

第4回 平成23年2月23日(水) 16:30~17:30 山形大学SCITAセンター実験室

(参加者38名)

テーマ: 「科学捜査に挑戦!ーDNAで犯人を捜せー」

講師: 神奈川工科大学応用バイオ科学部 准教授 小池あゆみ 氏

第5回 平成23年3月26日(土) 10:30~12:00 東北公益文科大学(予定)

テーマ：「身近な金属「アルミニウム」の性質を体験する」

講師：東北公益文科大学大学院准教授 古山 隆 氏

図書館の連携

教育機関向け AcrobatPro アカデミック版購入

教職員の交流・連携

1 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加

日 時： 9月11日(土)～12日(日) 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

共通テーマ： 「人材育成の新たな地平—大学コンソーシアムの挑戦—」

企画会議下平委員長が第6分科会で報告

2 他コンソーシアムとの交流等

9月14日(火) 沖縄国際大学視察

広報

1 ホームページの管理・充実

「ゆうキャンパスホームページ」 <http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>

- ・ 各大学等の各種事業募集案内やイベント情報等の更新。
- ・ ゆうステのイベント情報等の更新。
- ・ 平成22年8月21日 アクセス解析を追加。
- ・ 平成22年8月21日～平成23年3月8日のアクセス総数
18,128件 (1ヶ月あたり約3,000件)



- ・ ゆうキャンパスブログを開設。

「ゆうステ親爺ブログ」 <http://youcampus.blogspot.com/>

- ・ 毎日の様々な事業や活動を当事者(教員、職員、プロジェクト学生委員等)がカジュアルに伝えていこうというもの。
- ・ ゆうステからの情報やイベント写真等を掲載・更新。
- ・ 平成22年8月21日～平成23年3月8日のアクセス総数
6,084件 (1ヶ月あたり約1,000件)



- ・ ゆうキャンパスツイッターを開設・日々更新。

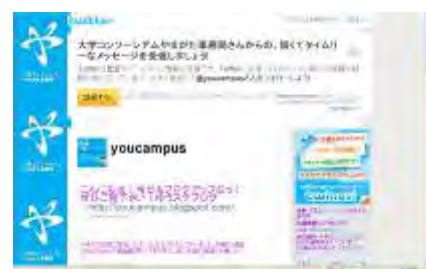
「大学コンソーシアムやまがた Twitter」

<http://twitter.com/youcampus>

- ・ 様々な企画やサービスを提供し情報を発信する。

平成23年1月7日～平成23年3月8日の

ツイート総数 76件 閲覧登録者数 726名



2 「ゆうキャンパス・ステーション」での情報提供

各加盟校の案内冊子、各種イベントポスター・チラシ、地域情報などを持ち帰り可能な媒体および自由に閲覧できる形で提供。

設置場所：入口ガラス面、壁、パネル、パンフレットスタンド、加盟校パンフレットコーナー
〈内 容〉

- ・ 各加盟校学校案内
- ・ 学生募集DVDの放映（放送大学山形学習センター）
- ・ ゆうキャンパスの案内パンフレット（日・英・中・韓・越）
- ・ 各加盟校教育関連イベントのポスター・チラシ
- ・ 各加盟校学生主体イベントのチラシ
- ・ 大学コンソーシアムやまがた主催イベントのポスター・チラシ
- ・ 他コンソーシアム発行冊子およびイベントのポスター・チラシ
- ・ 就職活動関連イベントのチラシ
- ・ 山形新聞の朝刊・夕刊
- ・ 地域情報のチラシ（ボランティア活動など）



鶴岡工業高等専門学校「花笠コロ子」



山形工科短期大学校「SRチェア」



山形駅前「夏祭り」に参加

事業評価

1 「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」報告会

企画・実施：事業評価委員会

目的：平成20～22年度に実施した文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の事業内容を振り返り、目的・計画どおり遂行できたかを評価する。併せて来年度以降の活動・事業のあり方に

ついて議論する。

日 時：平成23年3月3日（木）13:30～17:00 「ゆうステ」 （参加者 20名）

最上川学（文部科学省「戦略的大学連携支援事業」）

1 最上川学の実施

○前期開講科目

「最上川俯瞰講義」 最上川の歴史・文化・自然科学等を多角的に学び、最上川に関する知識見聞を深めるとともに河川と人間・地域の結び付きについて学習する。

「最上川の匠たちに聞くⅠ～川・海分野～」

最上川流域の地元実践者の方の話を伺い、最上川流域地域の暮らしを学び地域振興・貢献の在り方について考察する力を身につける。

「最上川の匠たちに出会うⅠ～春夏分野～」

山形県内の最上川流域地域を訪問し、地域社会の文化や暮らしに触れるとともに地元住民の方とのコミュニケーションを通じて、社会人基礎力を身につける。

○後期開講科目

「最上川の自然と文化」

最上川俯瞰講義で学んだ知識を基に実際に現場まで足を運び、川と我々の生活の結び付きについて学ぶ。



2 最上川学フォーラムの開催

「最上川学フォーラムⅢ～最上川の担い手たちへ～」

趣旨 20年度からの最上川学の成果報告・総括として開催。今年度は学生にパネリストを務めていただき、若い目線から見た最上川流域の振興について考えていく。

開催日時 2月26日（土）～2月27日（日）

場所 最上川学推進センター

内容

- ・講演「最上川流域の植物」
- ・最上川学活動報告
- ・パネルディスカッション
- ・地域交流会
- ・最上川舟下り
- ・羽黒山見学

（参加者 40名）



3 先進地調査

「高知大学と四万十市の連携事業について～四万十川の資源を活かした環境ビジネス創出～」

趣旨 最上川学プロジェクトの今後の発展の為、高知大学と四万十市のスジアオノリの養殖に関する連携事業について視察を行い、川資源を利用した大学と地域の連携事業の可能性について考察した。

日程 1月17日（月）～19日（水）

訪問先 ・高知大学-国際地域連携センター及び総合研究センター海洋生物研究教育施設
・四万十市-スジアオノリ陸上養殖施設



高知大学国際地域連携センター



スジアオノリ養殖用水槽



四万十川の漁師さんにお話を伺う

連携型教育（文部科学省「戦略的大学連携支援事業」）

1 授業紹介動画の携帯サイト及びゆうキャンパスホームページからの提供

平成 21～22 年度のアクセス総数 3,484 件

2 eラーニング授業教職員意向調査

9 機関の教職員 33 名に対して、eラーニングをどのように考えているのかまた具体的に開講する意向があるかどうか等の意向調査を実施

3 連携型科目の開発・試行（再掲）

研究環境整備・産学官連携（文部科学省「戦略的大学連携支援事業」）

1 知的財産環境の整備

- (1) 産官学連携プラットフォーム（ハード偏）の構築 加盟校等リンク先をHPに掲載。
- (2) 産官学連携プラットフォーム（ソフト偏）の構築 産官学連携ガイドブック第2版発行。
- (3) 各加盟校にて「産学官連携・知的財産関連相談会」の開催
 - ① 7 / 5（月） 山形工科短期大学校
 - ② 7 / 21（水） 山形県立産業技術短期大学校山形校
 - ③ 7 / 27（火） 鶴岡工業高等専門学校



(4) 加盟校にて知財講義を実施。

- ① 7 / 2 (金) 東北文教大学短期大学部 (福祉学科 1 年・2 クラス)
- ② 7 / 1 5 (木) 山形県立農業大学校 (1 年生全員)
- ③ 7 / 2 1 (水) 山形県立産業技術短期大学校山形校 (学生知財相談会)
- ④ 1 0 / 2 5 (月) 山形大学工学部大学院理工学研究科 ゼミ学生 (知財勉強会)
- ⑤ 1 / 1 4 (金) 山形県立産業技術短期大学校山形校 (情報管理システム)
- ⑥ 1 / 2 1 (金) 山形県立産業技術短期大学校山形校 (機械システム)



(5) 大学コンソーシアムやまがた学生発明コンテストを開催。

- | | | |
|-----------------|---------|--------------------------|
| 木・森林に関する発明・デザイン | 応募数 2 件 | (7 / 2 3 ~ 1 2 / 2 0 募集) |
| 自由課題の発明・デザイン | 応募数 4 件 | (9 / 7 ~ 1 2 / 2 0 募集) |

2 産官学連携セミナー・知財サロンの開催

(1) 第2回知財サロン

6 / 1 6 (水) 東北公益文科大学

「大学研究と知財・産学連携に関する私見—公益的研究と知財・産学連携—」

「知的財産制度の公益的活用

(知的財産制度の趣旨および知財による地域活性化事例等)」

参加者 山形県内企業、各加盟機関の教職員

(2) サイエンスセミナー

1 / 1 7 (月) 山形大学農学部

「薬をコンピュータでデザインする」

参加者 各加盟機関の教職員

(3) 第3回知財サロン

1/20 (木) ゆうキャンパス・ステーション

「無名のようなかんが100万本売れた歴史マーケティング 講演会」

参加者 山形県内企業、各加盟機関の教職員、県内高校の教員、学生

(4) 第2回産官学連携交流会

1/28 (金)、29日 (土) ゆうキャンパス・ステーション

森林の健全で持続的な維持管理を目的とする「森林からの新しい風」

参加者 山形県内企業、各加盟機関の教職員、幼児教育関係者、学生、一般市民



3 産官学連携活動

- (1) 発達障害者の保護者用「抱っこ器」の大学連携（山形県立保健医療大学、鶴岡工業高等専門学校、山形大学工学部）による開発
- (2) 米の無農薬栽培のための「無人除草機」の大学連携（鶴岡工業高等専門学校、山形大学農学部）による開発
- (3) 林業の6次産業化（木の名刺、木のおもちゃ等・間伐材の利用）

国際交流（文部科学省「戦略的大学連携支援事業」）

1 米国コロラド州及びアジア地域との学術交流、教職員交流

① コロラドと日本の学生交流ツアーの実施

6/4 (金) 山形市及び宮城県刈田郡 山寺、蔵王お釜、ゆうキャンパス・ステーション

参加者 21名（コロラドからの学生(6)、日本人学生(10)、引率教員(1)、事務局(4)）



② 黒龍江省の大学等調査の実施

10/10(日)～15(金) 中国黒龍江省：

黒龍江大、ハルビン理工大、ハルビン師範大、東北林業大、
ハルビン工業大、ハルビン医科大、ハルビン工程大、ハルビン
職業技術学院および同省外事弁公室

参加者 7名 (東北公益大学(1)、米沢女子短期大学(2)、東北文教大学(1)、
鶴岡工業高等専門学校(1)、事務局(2))



2 留学生と地域住民との交流行事の実施

① コロラドウィークの開催

5/30(日)～6/2(水) 山形市 ゆうキャンパス・ステーション

参加者 約30名(5/30) 約50名(5/31～6/2)



② インターナショナル芋煮会の開催

9/11(土) 山形市 馬見ヶ崎川 河川敷

参加者 46名 (外国人留学生(19)、日本人学生(13)、地域住民(11)、事務局(3))



③ インターナショナル忘年会の開催



12/19 (日) 山形市 ゆうキャンパス・ステーション

参加者 52名

(外国人留学生(26)、日本人学生(12)、地域住民(11)、
事務局(3)、その他(加盟機関職員(1))

④ 冬の山形ホワイトツーリズム体験 in 米沢!!の開催

1/29 (土)～30 (日) 1泊2日 米沢市

参加者 約67名(外国人留学生(32)、地域住民等(30程度)、その他(山形大学教職員(5))



3 ホームステイネットワークの構築

- ・ 短期ホームステイプログラムの実施(6泊7日)

① 11/7 (日)～13 (土) 村山・庄内・米沢各地区

参加者 留学生9名(山形大学(8)、東北芸術工科大学(1))ホストファミリー9家庭

② 12/12 (日)～18 (土) 村山地区

参加者 留学生8名(山形大学(8))ホストファミリー6家庭

委託事業等

1 川西町からの委託事業

平成22年10月1日ついで川西町と2件の「業務委託契約書」を締結。企画部会議内に「川西プロジェクトチーム」を構成して対応。

(1) 川西ダリヤ園入園者を活かした地域活性化研究業務

「意見交換会」を開催 平成22年12月23日(木)川西町「生きがい交流館」



原田川西町長のあいさつ



米沢女子短期大学 嶋崎教授の報告

(2) 特定消費地を対象とした交流戦略策定業務

「川西町交流戦略フォーラム」を開催 平成23年1月23日(日)川西町中央公民館



東北文教大学 大川教授の基調講演



意見交換風景

2 山形県からの委託事業

平成22年12月20日付けで山形県と「高等教育機関就職支援補助員配置事業委託契約書」を締結。ハローワークへの公募、各機関照会を経て、1月11日付けで3名の補助員を採用(東北芸術工科大学、山形大学及び「ゆうステ」)



「面接会」の取材

3 山形駅前大通り商店街振興組合への協力事業

今年度に加盟した山形駅前商店街振興組合への協力事業を実施

(1) 山形駅前イルミネーションプロジェクト

東北芸術工科大学の学生によるデザイン・制作



平成22年11月19日の点灯式

(2) モンテディオ山形を活用した山形駅前商店街振興フォーラム2010

主催：山形駅前大通り商店街振興組合

日時：11月27日(土) 13:30~15:00

場所：ゆうキャンパス・ステーション



(3) 駅前大通り商店街活性化プロジェクトのアンケート調査

主催：山形駅前大通り商店街振興組合
日時：12月11日（土）
場所：ゆうキャンパス・ステーションほか



（4 山形大学の委託事業）

（財）新技術振興渡辺記念会から山形大学が委託を受けた事業として、公開シンポジウム「なんたっす？ 大学コンソーシアム」を開催

趣 旨：当大学コンソーシアムの取組を紹介すると共に、先進的な取組を実施している京都や東北地方の大学コンソーシアム関係者とのパネルディスカッションを通して「なぜ大学は連携するのか」を明らかにするとともに今後の大学コンソーシアムの将来像や課題について考える場とする。

日 時：平成23年2月7日（月）13:30～16:30 ホテルメトロポリタン山形

参加者：約80名



※ 次の事業に係る経費は、当コンソーシアムの収支とは別会計

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」

以上